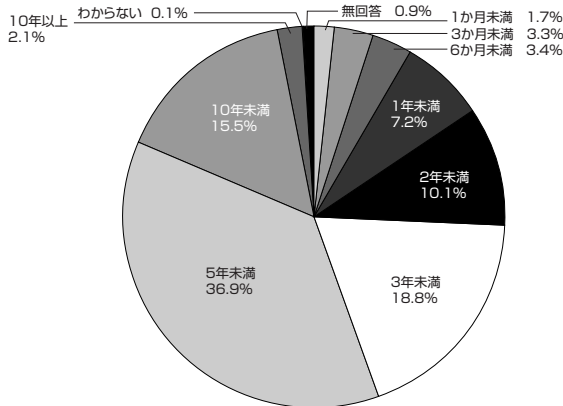


利用歴/位置付け

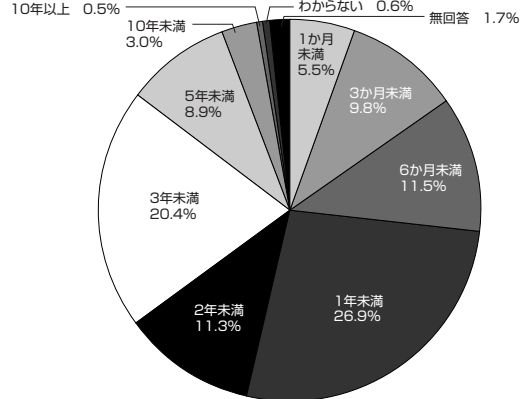
2割が電話を超えた端末として位置付け

資料 1-2-5 携帯電話/PHSの利用歴 N=1,100



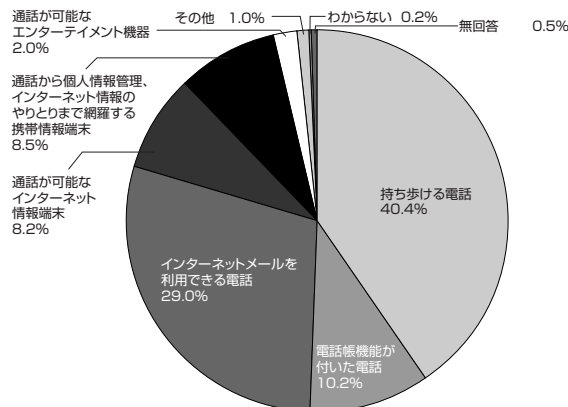
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-2-6 携帯電話/PHSでのインターネット(メール・情報サービス)の利用歴 N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-2-7 携帯電話/PHSの位置付け N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

「プライベート兼用」率が高いのは男性、30代が多い。

回答者の携帯電話/PHSの平均所有台数はそれぞれ1.2台と1.1台で、複数台所有者はそれぞれ12.4%と7.7%とやや携帯電話所有者のほうが多くなっている。

■ 利用歴/位置付け

携帯電話/PHSそのものの利用歴と携帯電話/PHSでのインターネット利用歴を比較してみると、前者が「5年未満」(36.9%)から「3年未満」(18.8%)を中心としているのに対し、携帯電話/PHSでのインターネットの利用歴は「1年未満」

(26.9%)、「3年未満」(20.4%)と当然ながらやや浅い。

今年初めて携帯電話/PHSを利用者がどのように位置付けているかを聞いている。「持ち歩ける電話」(40.4%)や「電話帳機能が付いた電話」(10.2%)、「インターネットメールを利用できる電話」(29.0%)という電話(通話)中心の位置付けが約8割を占める一方、「通話から個人情報管理、インターネット情報のやりとりまで網羅する携帯情報端末」(8.5%)、「通話可能なインターネット端末」(8.2%)、「通話可能なエンター

テインメント機器」(2.0%)と従来の電話の概念を超越した機器としての認識も約2割みられた。性別でみると「通話から個人情報管理、インターネット情報のやりとりまで網羅する携帯情報端末」「通話可能なインターネット端末」「通話可能なエンターテインメント機器」は男性で相対的に高くなっている。今後次世代携帯電話の登場や携帯情報端末としての付加機能が增えることで電話の概念がより薄れることが予測される。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp